

財団だより

第142号

2014.9

# 多摩川



Photo & Text  
遠藤 頼彦 (Hidehiko Endo)  
渋谷区在住

## ■ 五日市線 と桜堤 ■

公団福生団地沿いの桜堤と川を渡る五日市線福生市南田園のあたりは堤沿いに桜の木が植えられ、春の時期にはまるで花のカーテンを見るような美しさです。

桜のシーズンには絶景に恵まれて、川を渡る五日市線、川沿いの高層団地と桜並木が人工と自然のコントラストを見せている様です。

## Contents 目次

巻頭言 .....	2
特別寄稿 .....	3
多摩川に学ぶ .....	4
歴史・多摩川 .....	5
多摩川スケッチ散歩 (14) .....	6
環境 TOPICS .....	8
インフォメ多摩川 .....	9
財団からのお知らせ	
2015年度助成研究募集 .....	15





## 特別寄稿

### 「多摩川に堤防を」－ アミガサ事件百年！



アミガサ事件 100 年の会  
「記念誌」編集委員／呼びかけ人

関崎 益男

2014（平成 26）年 9 月 16 日「アミガサ（チョンポリガサ＝農作業用の蓑笠）事件」は、百年を迎える。

「100 年の会」の設立は、2013 年 4 月、川崎市中原区田尻町の織戸美紀世（73）さんが、引越しの荷物の整理中に、偶然 来年がアミガサ事件百年にあたる資料を見つけたのがきっかけだという。

早速、昨年 5 月 7 日に、長島 保（80・地域史研究者 / 大田区在住）・小泉愉孝（ゆたか / 八幡大神 宮司）・加藤譲司（八幡大神 宮頭）・青山勝二・織戸美紀世さんの 5 人が、織戸さんの自宅で初会合をもった。

2013 年 6 月 12 日（水）この事件を後世に伝えるべく、それまでまったく面識のなかった地域住民（市民）らが、記念碑建立運動に再結集した。16 人の実行委員たちだ。その地域住民（市民）の団体が、「アミガサ事件 100 年の会」である。その後例会は、月 1 回程度、既に 14 回、実行委員会が開催された。

なお、発会式は、2014（平成 26）年 1 月 19 日（日）に行われた。参加者約 60 名。その折の、織戸一郎（59 / 株）織戸組：代表取締役社長）会長挨拶を紹介しよう。

「・・・昨年（2013 年）の夏だったと思いますが、織戸美紀世（事務局）さんから、是非この会 アミガサ事件 100 年の会 の会長になってくれないかと頼まれました。・・・私は生まれて約 4 年、平間に住んでいましたが、それからこの地を離れていました。

・・・2013 年、織戸組も 90（周）年になり、地域に根ざした企業として、ずっと活動してきたので・・・この大役を引き受けることにしました。（後略）」

いまの私たちは、多摩川流域で水害のおそれなく、安心して暮らしている。そうできるのは、多摩川の水



編み笠（復元）



八幡大神



発会式

害とたたかい、築堤運動に尽力した先人・先輩たちの労苦に満ちた歴史があったからにほかならない。この事実を新旧地域住民で共有し、顕彰したい。



有吉堤跡

その為、主な記念

事業としては、以下の内容を掲げて活動している。

(一) アミガサ事件百年を機して、その歴史的偉業を後世に伝える記念事業を行う。

事件の集結地となった上平間八幡大神に、「アミガサ事件百年」の記念碑（石造）を設置する。

事件を機に展開された多摩川築堤運動の歴史を読み取れる文章を刻んだ銘版を設置する。とくに、小・中学校生の地域学習に役立つように留意する。講演会・展示会・史跡散歩などを行う。

「記念誌」を発刊する。

(二) 事業に賛同し、この会に入会する（会費 2000 円）（以下、省略）

「100 年会」の活動の中で、県庁への陳情団の中に、最年少 15 歳で参加した、長谷川貞吉（さだきち / 1900（明治 33）年 4 月生まれ）さんが、いたことが明らかになった。2014 年 4 月、貞吉さんの甥・長谷川平三郎（67） / 上平間在住）さんが、歌集『流れゆく水』を発見。〔百姓一揆〕：「蓑笠をつけし一揆の百姓の中に十五才のわれもをりにき」等も見つかった。『川崎市史』にも記されていない新事実の発見であった。

今年 9 月 13 日（土）「多摩川築堤記念碑」の除幕式を迎える予定である。なお、当日は有吉堤築堤に尽力された、有吉忠一元知事の子孫のご家族も参加されると聞いている。たいへん楽しみだ。

なお、入会・募金の申し込み、問合せは、同会事務局（織戸美紀世さん方）

電話 044(511)1002 / 【写真提供：長谷川平三郎さん】



堤防が築かれた現在の多摩川。左端に代用堤防の「有吉堤」があった。



堤防が築かれた現在の多摩川。（ガス橋の県境より）

# 多摩川に学ぶ

## 玉川上水をラムサール条約登録へ活動



ちいさな虫や草や  
いきものたちを支える会

リー 智子

「ちいさな虫や草やいきものたちを支える会（略称：ちむくい）」は、昨年、今年と連続して、玉川上水をラムサール条約に登録する可能性をさぐることをテーマとして小平でシンポジウムを開催した。

1653年に江戸へ水を運ぶために羽村から四谷まで開削された玉川上水は、歴史的価値が高く、比較的保護されてきたが、戦後は玉川上水の上に蓋を



パネリストの皆さん

して道路を作ると言う話が浮上し、全長43kmの内、都心に近い13kmは、現在ほとんどが暗渠になっている。また、羽村から12km西の小平監視所までは、多摩川の水が流れているが、そこから先は下水処理水と入れ替わる。住宅地の合間を流れ、水量も少ないそんな玉川上水を、ラムサール条約に登録しようとするのは、一見馬鹿げたことに思われるかもしれない。確かにこれまでの登録地は、広大な湿地や、希少なきものがある場所に限られており、そういう点では、玉川上水は当てはまらない。

しかし、湿地、水鳥を守る世界的な条約であるラムサール条約が、実は、人工物や、小河川、水鳥以外の動植物も、保全の対象としていることは、意外と知られていない。玉川上水の特筆すべき点は、自然豊かな山地から流れ出る多摩川から取水され、中央線に沿いながら都心へと向かっていることである。



密集する住宅の谷間を、水鳥や様々ないきものが、我がもの顔で行き来する。玉川上水の堀の中は水道局の管理下で、人は立ち入る事が出来ない。それが幸いし、いきものにとっては楽園である。玉川上水は、多摩川を伝って山から移動してきたいきものたちの、都心へ向けた通り道となっている様に思える。



都心の緑地保全については、生物多様性に重点が置かれてきている。都市における生物多様性は、これから益々重要になってくる。都内では、水と緑のネットワーク作りが進んでいる。それは必然的に山とつながらなければ意味が無い。玉川上水がまさにそのつなぐ機能を果たしているのだとしたら、ラムサール条約に登録するための世界基準1（特定の生物地理区を代表とするタイプの湿地、または希少なタイプの湿地）に当てはまるのではないか。そう考えると、都内の川のネットワーク作りにも、この働きかけは役に立つ可能性がある。多摩川と荒川の間にある多くの川全体と皇居、明治神宮、新宿御苑などの都心の緑をまとめて登録するように働きかけることも考えられる。

私たちの働きかけは、登録それ自体を目的としているのではない。この活動を通して、都会の中の緑のあり方を考えるきっかけをつくり、今まで環境にあまり関心の無かった人たちを巻き込んでいくことを目的にしている。

未来をデザインする為に知らなければならないことを、楽しく学べるような活動を目指している。私たちの未来は、思い描いた世界に向かって創られていくのだから。





# 歴史／多摩川

## 築堤同盟と有吉堤



NPO 法人多摩川エコミュージアム  
長島 保  
監事 (地域史研究家)

前号でふれたアミガサ事件は、その後の多摩川における築堤運動を大きく進展させた。しかもそれは、一部有力者たちだけの運動ではなく、流域の住民たちを巻き込み、村ぐるみ、地域ぐるみの運動へと広がった。なによりも、多摩川築堤期成同盟会が結成され、運動が組織的に行われたのだ。そこには多摩川沿いの村々の協力関係が生まれ、地域的なつながりが強められていった。こうして多摩川に堤防をつくる運動は大きく前進して、二年後の有吉堤の完成にこぎつけ、数年後の本格的な多摩川改修工事着工を導くことになった。



川崎市中原区中丸子児童公園に残る有吉堤跡

さて、アミガサ事件の大挙陳情で、県知事から期待したような回答を引き出せず、激高した参加者たちは村に帰り、その三日後には多摩川築堤期成同盟会を結成した。会長には時の橘樹郡長市村慶三を推戴し、副会長には御幸村村長小島晋測と日吉村村長深瀬啓十郎が充てられた。委員には各村の村長や郡会議員を含めて、37人が名を連ねた。

この運動の実質的リーダーであった秋元喜四郎を始め、矢島七蔵、野口新蔵、成川宗義、福岡長之助

らが監事となった。なんでも、筆頭の秋元は、あの県庁大挙陳情の前月、暴風雨襲来で増水中の多摩川で水防活動中に、激流に呑みこまれてしまい、九死に一生を得たばかり。それだけに、築堤実現にかける意気込みは大変なものがあった。



筆頭監事の秋元喜四郎

いま、ガス橋のたもとから、中丸子方面に向かうバス通りがある。この通り、あちらこちらで周りよりも高くなっている所が目につく。実は、これが有吉堤に当たるのだ。この堤防跡、国の河川改修がなかなか進まないの、川沿いの道路をかさ上げして堤防代わりにしようとした「代用堤防」なのだ。



有吉忠一神奈川県知事

さて、着任早々の有吉忠一県知事は、水害で苦しむ地元の願いを即座に聞き入れ、県費事業として工事にとりかかった。ところが、対岸東京側の住民らが、今度は被害が自分らに及ぶとって猛反対、ついに内務省に中止命令を出させた。

有吉知事はいつとき、この命令に従わずに工事を進めたので、のちに内務大臣から譴責処分を受けた。1916(大正5)年、代用堤防は完成するが、地元では知事の尽力に感謝して、有吉堤と名づけた。後年になるが、当人は「名譽な譴責」と回顧している。



県知事有吉忠一譴責一件文書(『川崎市史』から)



# たまがわスケッチ散歩 (14)

## 川崎市北部

川崎北部地区は川崎＝京浜工業地帯というイメージからは程遠い閑静で緑豊かな住宅地帯である。全体に北傾斜地であることより開発が遅れたが、そのぶん豊かな自然が残っており、その緑の丘陵を利用して自然公園や民家園、ゴルフ場などの文化スポーツ施設も整っている。

多摩川の流ればゆったりと広い川幅いっぱい流れ二ヶ領から取水された用水は川崎の工業地帯の用水として日本の産業を支えていたが、重工業が衰退した現在ではむしろ市民の憩いの散歩道として活用されている。



① ありがた山

自転車でよみうりランドの下を流れる三沢川付近を散策していたら妙覚禅寺という端正な寺に出た。スケッチをしていると住職が現れよもやま話。その禅寺の裏山はありがた山と言って、関東大震災のとき被災した東京駒込付近のお寺の墓石や石仏などを信者たちが運んできて、この山に並べたこと。地図にも観光案内にも載っていないが5000体くらいはありそう。



③ ニヶ領用水 久地円筒分水

ニヶ領用水を各耕作地へ公平に分水するために近くを流れる久慈川の下をくぐり吹き上げられる用水を円筒上に堰を造り配分する装置であるが、現在は耕作地がなくなりその役割は終えている。



④ 二ヶ領 宿河原堰

昭和49年9月1日台風16号での増水で氾濫し、狛江市側の住宅が流されるのをTVで実況放映された。その後、固定堰を可動堰に改良し現在のようになった。右端には魚道がついている。



① 妙覚禅寺

多摩丘陵のよみうりランド北側にあり、四季折々の花木が美しい。正面の巨大な松の木は傷んでおり幹の中央付近で切り取られている。残り分も何やら元気がない。ありがた山は画面左奥の山。



② ニヶ領用水 宿河原の桜

江戸時代 小泉次大夫により整備されたニヶ領用水は周辺2000町歩への水田を潤し稲米として生産されていたが、今は宅地化されその役割は終えた。ニヶ領用水の両岸には周囲にJR南武線宿河原駅より久地駅まで約400本のソメイヨシノがトンネルを造っている。



④ ニヶ領堰

正面の堰がニヶ領堰でその左にニヶ領宿河原堰管理事務所のある「ニヶ領せせらぎ館」が見える。足下の茶色の軟岩の中から120万年前のステラーカイギュウの化石が発見されたとのこと。



⑤ 和泉多摩川 小田急鉄橋

宿河原堰で堰き止められた川面は広く、屋形船が1艘あった。以前見た時には4艘もあり、時折客を乗せていたが、今は係留されているだけで営業されていないように見えた。中州は釣りのポイントのようで時折ボートで客を運んでいた。

画と文 野尻明美 (のじりあけみ)

一級建築士、工学博士(東北大学)  
科学技術庁長官賞、紫綬褒章 受章  
東急ハンス大賞クラフトの部 入選  
「水彩スケッチと10の活用術」  
日貿出版社 他技術書多数



⑥ 多摩水道橋

狛江市と川崎市多摩区を結ぶ水道管と併設されている世田谷通りに架かる美しい鉄骨アーチ橋。スケッチは右岸川崎市側からのもので手前の石は「巨岩乱積み」という整流護岸で、流れから堤防を守るために人工的に積み上げた整流装置。



⑧ 生田緑地 川崎民家園

川崎市立「日本民家園」が正式名称。日本の江戸時代に建てられた民家25棟を展示している。左より野原家(富山県 五箇山) 山田家(同 五箇山) 江向家(同 五箇山)



⑧ 生田緑地 川崎民家園

民家園の入口すぐにある宿場町で、右より原家(川崎中原区小杉陣屋町)、鈴木家(奥州街道福島県 松川町) 井岡家(柳生街道 奈良県高畑町)



⑨ 生田緑地 枳形山

生田緑地公園は多摩丘陵の自然の中 川崎市が総合的な公園として整備したもので枳形山城址にはエレベーター付きの展望台があり、その周囲は桜が植えられ、360度の展望が楽しめる。画面右端上部には専修大学があり、その右には富士山が遠望できる。



⑦ 向ヶ丘遊園への歩道

小田急電鉄系の遊園地であった向ヶ丘遊園は平成14年に閉園したが、川崎市では生田緑地の一部としてボランティアが手入れをするバラ園を開園し春と秋のシーズンには公開している。そこへの遊歩道も見事にバラの散策路となる。



⑧ 生田緑地 川崎民家園

民家園の中央付近の高台より俯瞰した神奈川の村。右より雪囲いの菅原家(月山山麓の雪国) 清宮家(川崎市多摩区登戸)、岩澤家(神奈川県愛甲郡清川村) 伊藤家(川崎市麻生区金程)



⑩ 生田緑地 岡本太郎美術館

生田緑地公園内にあり「体験型展示空間」をコンセプトに岡本太郎の作品を肌で感じることができる。スケッチは屋外に展示されている「母の塔」



## 環境 TOPICS

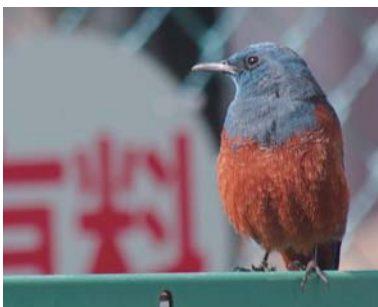
### イソヒヨドリが内陸への 繁殖分布拡大中



八王子・日野カワセミ会

粕谷 和夫

#### 1. イソヒヨドリとは



イソヒヨドリ・オス



イソヒヨドリ・メス

イソヒヨドリは、オス（写真左）とメス（写真右）で違う種類と思われるほど模様が異なる。オスは頭部から胸までと上面の青色が鮮やかで、腹から下尾筒はレンガ色の模様が目立つ。メスは上面が灰褐色、喉から下尾筒までは淡い黄褐色で、うろこ模様が目に入る地味な姿です。ユーラシア大陸で海辺や山地の岩場など幅広い環境に生息している。日本では北海道から九州、沖縄までの各地にいるが、名前が示すとおり磯や港など海岸周辺が主要な生息地域であるとされてきた。

近年、内陸部でも姿が見られるようになり、今では一時的なものでなく、定着して繁殖し始めたことが確認されるようになった。八王子・日野カワセミ会の野鳥観察フィールドである東京都八王子市、日野市域（多摩川河口から40数km）では、1993年12月の探鳥会において浅川の新浅川橋付近でイソヒヨドリの姿を始めて観察した。繁殖が始めて確認されたのは2009年JR八王子駅南口付近である。

#### 2. 2014年7月までの営巣状況

2014年までの営巣状況は以下の表のとおりである。2012年から営巣確認数が増加しているのは、当年にNPO法人バードリサーチの調査研究支援プロジェクトの助成を受けて組織的に調査に取り組んだことによるもの。2014年には新たに2ヶ所（八王子みなみ野駅付近、日野市日野台）で営巣が確認された。営巣場所は鉄道駅付近に多い、量

販店や集合住宅に多いという特徴がある。巣は直接雨が当たらない場所の人工構造物の隙間のようなところに作られる。

子育てのための給餌には植物（桜の実）から虫やトカゲなど多岐にわたっていて、それらは巣のごく近く（100～200mぐらいの範囲）で採餌している。巣立ち時期は5月末から6月上旬であった。1巣当りの巣立ち雛数は、巣立ち直後の親子連れを観察した結果、2羽～4羽であった。

#### 3. 市街地へ進出してきている要因

イソヒヨドリが市街地へ進出してきている要因はよく分からないが、その一つはイソヒヨドリの人を恐れない大胆な行動とイソヒヨドリに関心を示さない人の行動であると推定される。2013年1月7日、筆者が朝7時50分、JR八王子駅3番線ホームで東京行の電車を並んで待っていると、イソヒヨドリのオスがホームに飛んで来て、立っている筆者の直ぐ近く（2m近）くに降りた。まるでドバト並みである。周りの他の人はイソヒヨドリの飛来に誰も気がつかない。大型量販店の駐車場など人の出入りが多い所に営巣し、イソヒヨドリが頻りに姿を現しても殆どに人は気がついていない。このような場所に営巣してカラス等の天敵を防ぐというツバメと同じ効果を狙っているように見える。ただし、巢中の雛に給餌する時は警戒心が強く、この点は人を恐れず給餌するツバメとは異なるようである。

第二は何でも食べる雑食性であることが内陸でも繁殖できる要因と推定される。トカゲ、バッタ、ガの幼虫、ゲジゲジ、ムカデの仲間などを地上で捕って巣によく運んでいる。巣の近くで空中を飛んでいる虫をフライキャッチしている姿も観察できる。以上のようにイソヒヨドリは人に干渉されずに人の出入りの多い所に営巣場所を見つけた事、雑食性であることから市街地でも巣の近くで十分な餌を確保できることが市街地に進出してきている要因と考えられる。

イソヒヨドリは八王子よりさらに内陸の中央線相模湖駅、藤野駅、大月駅付近、甲府市内、青梅市内などでも営巣し始めたという報告がある。今のところイソヒヨドリが営巣する所は大きなスーパーの屋上や駐車場の隙間、市街地のビルや工場などの建造物の隙間、人家の屋根の隙間に限られている。今後この鳥がどのように生息場所や営巣場所を拡大していくか、興味深いところである。

巣の場所	巣の環境	確認できた巣の数					
		2009	2010	2011	2012	2013	2014
JR八王子駅南口付近	集合住宅	1	1				
JR八王子駅北口付近	集合住宅				1	1	1
八王子市明神町3丁目	不明					1	
横浜線八王子みなみ野駅付近	大型量販店						1
高尾駅付近(南口の大型マンション)	集合住宅					1	1
高尾駅付近	不明					1	
狭間町の大型量販店	大型量販店			1	2	2	1
南大沢駅付近(アウトレットパーク)	大型量販店				2	1	1
南大沢駅付近(大型量販店)	大型量販店				1	1	
八王子市別所(大型量販店)	大型量販店					1	1
谷地川新旭橋付近	工業団地				1		
日野市日野台	工場						1
計		1巣	1巣	1巣	7巣	9巣	7巣

## インフォメ 多摩川

多摩川流域の各種団体等の9月から12月頃まで行われる環境活動に関する主な行事・イベント情報を紹介いたします。

### ☆ 美しい多摩川フォーラム

1. 多摩川“水”大学講座(9月19日:立川市女性総合センター・AIM5F)
2. 第7回たまりバー50キロ命名記念・RUN&WALK(10月:大田区~羽村市)
3. 多摩川“水”大学講座(10月17日:立川市女性総合センター・AIM5F)
4. 多摩川酒蔵街道オープン(11月)
5. 美しい多摩川クリーンキャンペーン月間(11月)
6. 多摩川“水”大学講座(11月21日:立川市女性総合センター・AIM5F)
7. 第7回多摩川子ども環境シンポジウムを開催(12月6日:昭島市フォレスト・イン昭和館)

問合せ先

美しい多摩川フォーラム事務局(青梅信用金庫 地域貢献部内) 担当:宮坂/土方/及川

TEL:0428-24-5632 FAX:0428-24-4650

E-mail:forum@tama-river.jp URL:http://tama-river.jp

### ☆ みずとみどり研究会

#### 第2回まるごと多摩川まつり 開催のお知らせ

日時 2014年9月28日(日)

午前 多摩川を歩く・河口編

9時30分~12時 天空橋駅A2出口集合

午後 多摩川流域セミナー

13時~16時(工藤孝浩さん他からの活動報告を予定)

いい川づくり交流ひろば

12時~16時

・干潟観察会

・防災車展示や多摩川クイズラリー

・防災食の試食や多摩川のしじみ汁など

(「多摩川を歩く」、「多摩川流域セミナー」、「干潟観察会」は事前申込とさせていただきます。下記の京浜河川事務所ホームページにて『まるごと多摩川まつり』チラシをダウンロードいただき、チラシ裏面の申込書にてお申込下さい。)

#### 多摩川流域セミナー・いい川づくり交流ひろば

場所 大師河原水防センター(大師河原干潟館)京浜急行大師線、東門前駅 駅から徒歩 6分

参加費 無料(「多摩川を歩く」および「干潟観察会」へ参加される方は保険料として100円必要です。)

詳細は京浜河川事務所ホームページ

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html> (多摩川流域セミナーの案内ページです。)

主催 多摩川流域懇談会

共催 多摩川流域協議会

協力 NPO法人多摩川干潟ネットワーク

お申込み・お問い合わせ先:多摩川流域懇談会連絡事務局 みずとみどり研究会

連絡先 TEL/FAX 042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp



☆ むさしの化石塾

テーマ「多摩川の化石から、古環境を復元しよう」  
むさしの化石塾では、多摩川で見つかる化石を調べ、環境教育や自然科学の学習を行っております。  
9月から12月の室内作業をご案内いたします。

ご関心のある方は、お気軽にメールにてお問い合わせ下さい。

当日の教材内容は、後日参加者にご案内します。

開催予定日(9月～12月)

- ・ 9 / 27 (土)
- ・ 10 / 25 (土)
- ・ 11 / 22 (土)
- ・ 12 / 20 (土)

日 時：14時00分～16時00分 (2時間)

場 所：武蔵村山市中央3-20-7 むさしの化石塾 教室内

最 寄：武蔵村山市役所前バス停下車徒歩3分 参加費：2000円

都度5名定員締め切り 要・事前申し込み 連絡先：geo@extra.ocn.ne.jp

メールにて住所・氏名・学年など、連絡先を明記の上、送信下さい。

\*\*\*\*\*

GeoWonder 企画 むさしの化石塾

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央3-20-7 MKJ事務所

むさしの化石館 042-567-1095 (FAX)

むさしの化石塾 代表 福嶋 徹 090-1769-8020

\*\*\*\*\*

☆ 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

秋のバードウォッチング<親子観察会>～野川周辺

・11月29日(土) 午前9時30分～11時30分 要申込

世田谷トラストまちづくりビジターセンター ～世田谷区成城4-29-1(野川沿い)

・「身近な自然と触れ合うミニイベント」原則毎月第4土曜日 午後1時30分～3時  
要申込 / TEL03-3789-6111

・「みどりの上映会」毎週土曜日 午前10時～午後3時 随時・申込不要

【申込・問い合わせ先】(一財)世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課

TEL 03-6407-3311 FAX 03-6407-3319

財団HP <http://www.setagayatm.or.jp/>



☆ 多摩川大学ふれあい移動水族館

	イベント	内容	時間	対象	集合	申し込み	費用	交通
10月4日	多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網掛け体験。餌長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり。申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
10月5日	多摩川釣り大会	多摩川で釣ります。外来魚も釣れてしまいますが再放流はできません。ライフジャケット必要 ライフジャケット・釣竿・仕掛・エサのレンタルのご用意があります。	9時～12時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	9時受付開始 川崎市稲田堤 京王線稲田下流の多摩川 福田公園おさかなポスト駐車場から徒歩5分 無料駐車場有		遊漁券 小学生無料 大人500円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
10月7日	青梅市立新野小学校 講演会	電子紙芝居 多摩川のお話です。 水の話、魚の話、環境の話 90分	10時～12時	大学生以上	詳細はお問い合わせください。	要		
10月9日	おさかなポスト見学会	多摩市立蓮光寺小学校が遠足でおさかなポストに訪れます。紙芝居や説明会を実施。一般の方も見学可能です。	13時～14時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要		JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
10月11日	川崎みなと祭り	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～16時	全年齢対象	川崎区川崎マリエン 無料駐車場有			JR川崎駅東口 11・12番乗り場から市営バス「川05系統東国府橋」JR川崎駅東口 11・12番乗り場から市営バス「川05系統東国府橋」
10月12日	川崎みなと祭り	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～16時	全年齢対象	川崎区川崎マリエン 無料駐車場有			JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
10月14日	大東学園 職業体験	おさかなポスト施設管理体験 多摩川美化活動	14時～16時	全年齢対象	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要		JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
10月18日	土 ENEOS子供フェスティバル	来て見て触ってふれあい移動水族館	9時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	詳細はお問い合わせください。	要		JX日産日石エネルギー株式会社川崎製造所
10月18日	土 多摩区民祭	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～15時	全年齢対象	多摩区生田緑地			小田急線向ヶ丘遊園駅 徒歩10分
10月19日	日 おさかなポスト見学会	多摩市立蓮光寺小学校が遠足でおさかなポストに訪れます。紙芝居や説明会を実施。一般の方も見学可能です。	13時～14時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	無		JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
10月24日	金 浦安市立日の出小学校	ふれあい移動水族館 投網体験など ボランティアさん募集	9時～12時	大学生以上	詳細はお問い合わせください。	要		
10月25日	土 川崎市立登戸小学校 フェスティバル	ふれあい移動水族館や紙芝居です。ボランティアさんを募集します。	9時～16時	大学生以上	詳細はお問い合わせください。	要		
10月26日	日 下野毛フェスティバル 移動水族館	ふれあい移動水族館がやります。多摩川の魚に触れてみよう	9時～14時	全年齢対象	下野毛公園			
11月1日	土 川崎市民まつり	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～16時	全年齢対象	川崎市立富士見台公園			川崎駅徒歩8分
11月2日	日 川崎市民まつり	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～16時	全年齢対象	川崎市立富士見台公園			川崎駅徒歩8分
11月3日	月 川崎市民まつり	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～16時	全年齢対象	川崎市立富士見台公園			川崎駅徒歩8分
11月8日	土 多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網掛け体験。餌長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり。申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月9日	日 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月15日	土 多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網掛け体験。餌長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり。申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月16日	日 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	14時に川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月22日	土 多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網掛け体験。餌長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり。申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月23日	日 福田公園市民まつり	おさかなポスト カマヤ魚の里親探し、中古水槽分譲、多摩川天然アユの塩焼きなどお楽しみがいっぱい	10時～15時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園 無料駐車場有			JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月24日	月 多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会 天然アユの産卵場観察会	多摩川天然アユが卵を産んでいる場所を観察します。濡れると寒いので長袖長靴が必要。レンタルがありますのでお持ちでない方はお申し出ください。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	高津区二子新地246バイパス上流に集合 有料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月29日	土 多摩川ジュニアガイド 多摩川自然観察会	多摩川に仕掛けてある調査用の定置網網掛け体験。餌長、ライフジャケット持参。有料レンタルあり。申し込み時にお知らせください。*外来種の持ち帰りはできません。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
11月30日	日 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
12月7日	日 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
12月11日	木 エコプロダクト	おさかなポストの活動などを紹介します。	10時～17時	全年齢対象	東京ビックサイト			りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩5分
12月12日	金 エコプロダクト	おさかなポストの活動などを紹介します。	10時～17時	全年齢対象	東京ビックサイト			りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩5分
12月13日	土 エコプロダクト	おさかなポストの活動などを紹介します。	10時～17時	全年齢対象	東京ビックサイト			りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩5分
12月14日	日 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
12月20日	土 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
12月23日	火 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
12月27日	土 お餅つき	おさかなポストボランティアスタッフ、ボランティアにや多摩川に多摩川に興味のあふる方ならなだでもご参加いただけます。	10時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	9時受付 おさかなポスト管理事務所集合	要	実費1人千円	小田急線生田駅徒歩5分
12月28日	日 おさかなポスト 見学会	おさかなポストにて外来種学習 餌やり体験などができます。	14時～16時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	川崎市立福田公園おさかなポストに集合 無料駐車場有	要	実費1人千円	JR南武線・京王線/福田駅下車徒歩6～8分
12月31日	水 多摩川年越しカウントダウン	多摩川河口0キロメートルで新年を迎えます。	23時～1時	全年齢対象 小学生以下は保護者同伴	23時に川崎区観音講演に集合 駐車場無	要	実費1人千円	京浜急行小島新田駅 徒歩15分

\* ふれあい移動水族館・おさかなポストの会 山崎充哲  
 申し込み・問い合わせ メールアドレス RiverRanger777@gmail.com TEL:090 - 3209 - 1390



## ☆ 川崎市域水辺の楽校

## 川崎市域水辺の楽校予定

かわさき水辺の楽校	とどろき水辺の楽校	だいし水辺の楽校
9月13日 大師河原干潟館でハゼ釣り	9月21日 昆虫調査	9月20日 ハゼ釣り
9月23日 多摩川ハイキングと植物調査	9月28日 多摩川まつり	9月28日 多摩川まつり
10月23日 今季最後の魚釣り	10月19日 中原区民祭り	10月4日
10月26日 サツマイモの収穫祭	源流ヤマメ塩焼き	10月18日 ハゼ釣り
11月3日 せせらぎ池の整備と環境調査	11月3日 二子の渡し祭り	11月8日 干潟と野草の観察会
11月8日 緑化センター祭り参加クラフト	11月9日 丸子の渡し祭り	

## 国土交通省河川協力団体とどろき水辺の楽校

(運営)

NPO法人 とどろき水辺

理事：事務局 鈴木 眞智子

212-0004

川崎市幸区小向西町3丁目64

電話・FAX 044-201-1493

携帯：090-5814-9604

Eメール：machiko@todoroki.org info@todoroki.org

HP：http://www.todoroki.org/

## ☆多摩川源流大学・源流研究所・NPO多摩源流こすげ関係

## 多摩川源流大学体験講座 関係

## 源流文化体験・小永田祭典

主催 神代神楽保存会

協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ

場所 小菅村

日時 9月3日

## 多摩源流トレイルラン大会支援

主催 トレイルラン実行委員会

協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ

場所 小菅村

日時 9月14日

## こすげお散歩ゆ～のみち参加

主催 こすげお散歩の会

協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ

場所 小菅村

日時 9月21日



**こすげ木こりキャンプ**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 9月27日～28日

**源流大学実習**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 10月4日～5日

**経済地理学会小菅大会参加**

主催 経済地理学会  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 10月18日～19日

**緑のボランティア**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 10月25日～26日

**東京農大収穫祭 小菅村物産展出店**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 東京農業大学  
 日時 10月30日～11月2日

**源流大学基礎コース 木こり**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 11月15日～16日

**学生林業体験**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 11月22日～23日

**源流大学 基礎コース**

主催 多摩川源流大学  
 協力 小菅村・源流研究所・NPO 多摩源流こすげ  
 場所 小菅村  
 日時 11月29日～30日

**4市町村合同マップ発表会**

主催 多摩川源流協議会  
 協力 宮林森林政策研究室  
 場所 東京農業大学  
 日時 12月2日

**(問合せ先)**

多摩川源流研究所 担当 中村文明

TEL 0428-87-7055 FAX 0428-87-7057

E-mail genryu@ec3.technowave.net.jp URL : <http://www.tamagawagenryu.net>



## ■平成26年度 研究助成金 受領者一覧■

### 1 新規 学術研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2014年度 助成金額
1	多摩川上流における風穴の現状およびその自然条件と温度観測	清水 長正	駒澤大学文学部地理学科 非常勤講師	2年	882,450
2	河川環境の特性を活かしたカワラノギクと礫河原生生態系の再生手法の開発	倉本 宣	明治大学農学部 教授	2年	1,360,810
3	溶存N <sub>2</sub> /Ar測定による多摩川における脱窒の推定	木庭 啓介	東京農工大学農学部環境資源科学科 准教授	2年	2,000,000
4	多摩川中流域に分布する上総層群の残された問題の解決、総括的研究と地質野外実習教材の改訂	松川 正樹	東京学芸大学環境科学分野 教授	2年	1,988,786
5	多摩川流域における放射性物質による影響の推移に係る調査研究と水環境・放射線を共に学ぶ教室の展開	吉田 政高	NPO千葉健康づくり研究ネットワー ク 理事	2年	1,994,000
6	多摩川流域の森林丘陵地におけるPM <sub>2.5</sub> の沈着量の評価	松田 和秀	東京農工大学農学部 准教授	2年	2,000,000
合 計 (6件)					10,226,046

### 2 新規 一般研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2014年度 助成金額
1	淡彩スケッチで表現する多摩川流域の地質地形遺産の特徴とその発表方法	野尻 明美	スケッチ地盤工学者	1年	950,720
2	「多摩の物語」(民話・昔話)の掘り起し調査と「語り」の実演	平野 啓子	美しい多摩川フォーラム 副会長	2年	772,000
3	多摩川中流域並びにその支流における生体と土壌に対する雨水の流入と放射能汚染の関係について	清宮 祥子	特定非営利活動法人 R・I・L a 理事長	1年	731,340
4	多摩川流域(東京都域)におけるハーブトラップを導入した森林性コウモリ類相の把握に関する調査研究と音声ライブラリー構築の試み	重昆 達也	東京コウモリ研究会 代表	1年	1,000,000
5	多摩川河口域における市民環境調査とその継続方策に	五明美智男	海辺つくり研究会 理事	1年	1,000,000
合 計 (5件)					4,454,060

### 3 継続 学術研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2014年度 助成金額
1	多摩川周辺の残る里山の植生の類型化に関する研究	鈴木貢次郎	東京農業大学 地域環境科学部 造園 科学科 教授	2年	2,000,000
2	多摩川水域における放射性同位体分布状況調査およびその地形との関連探究	井上 浩義	慶應義塾大学 医学部 化学教室 教授	2年	1,820,000
3	多孔性セラミックスと活性炭を用いた非電化フィルターによる多摩川河川水の滅菌と飲料化の研究	今田 千秋	東京海洋大学 大学院 教授	2年	1,900,000
合 計 (3件)					5,720,000

### 4 継続 一般研究

(単位：円)

	研究課題	代表研究者	所属	研究期間	2014年度 助成金額
1	多摩川における日本在来河原植物5種の分布調査	柴田 隆行	多摩川の自然を守る会 代表	2年	282,000
2	市民や子ども達による多摩川流域一斉水質調査についての新たな展開 - 電気伝導率、硝酸態窒素、リン酸態リンの測定 -	渡邊 勇	美しい多摩川フォーラム 環境清流部 会長	2年	536,500
3	多摩川流域におけるカメラ相の変遷	佐藤 方博	認定NPO法人 生態工房 事務局長	2年	346,000
合 計 (3件)					1,164,500
総 合 計 (17件)					21,564,606

## 財団からのお知らせ — 助成研究募集のご案内 —

### 多摩川およびその流域の環境浄化に関する 基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究・活動助成の募集

公益財団法人とうきゅう環境財団（理事長 西本 定保）は、1975年（昭和50年）より、多摩川およびその流域の環境浄化の促進や自然環境の保全などに必要な調査や試験研究を毎年公募してきています。その結果、これ迄に1,169件（新規・継続—学術研究731件、一般研究438件、13億8千万円）の調査・試験研究のお手伝いをさせていただきました。

2015年（平成27年）4月からの助成についても、従来と同様、意欲的な調査や試験研究を募集致します。

#### 1. 応募資格者

下記研究対象テーマに掲げた調査や試験研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

#### 2. 助成研究対象テーマ

産業活動または住生活と多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究  
排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究  
多摩川およびその流域における水の利用に関する調査および試験研究  
シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川及びその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの。

#### 3. 応募方法

当財団所定の申請書に必要事項を記入、捺印の上、財団宛ご提出下さい。

「募集要項」「申請書」はホームページ上からダウンロードして下さい。

<http://www.tokyuenv.or.jp/invite>

#### 4. 助成の決定

2015（平成27年）年3月に開催予定の当財団選考委員会で選考のうえ、理事会に諮って最終的に決定致します。

#### 5. 応募締切日 2015（平成27年）年1月15日（水）消印有効

#### 6. 応募にあたっての注意事項

ご応募にあたっては当財団の定める「調査・試験研究助成に関する調査・試験研究の選定基準、助成の方法、調査・試験研究の実施方法、助成金の支払い方法ならびに調査・試験研究者の個人情報保護の方法に関する規程」を必ずお読み下さい。

過年度に不採用となった調査や研究の再応募は受付けておりませんので、同一の調査・試験研究課題で再応募される場合は、前回のものと調査や試験研究の内容のちがいがよく判るよう工夫して、申請書をご作成下さい。

（次ページへ続く）



## 7. 助成研究の種別と諸条件

研究の種別	学術研究	一般研究
研究の区別	環境問題改善のための調査や試験研究で、専門性が高く、その分野の学識経験を必要とするもの。 (財団のホームページで過去の研究事例をご参照下さい)	環境問題改善のための調査や試験研究で、一般の市民が、特別な学識経験を必要とせず取り組めるもの。
1件当たりの助成金総額の上限額	400万円	100万円
単年度の助成金上限額	200万円	100万円
研究期間	最長2ヶ年	最長2ヶ年
助成対象費目	直接研究に使用する器具備品で一個、又は一式10万円以上の固定資産。 調査や試験研究に用いる各種材料、部品、薬品等。 調査や試験研究のための交通費、宿泊費等。 調査や試験研究のために臨時に雇った人の謝金等。 器械・設備などの賃借料、通信費、その他。	
尚、一般研究については、従来からの調査・試験研究に加えて、シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川およびその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与すると思われるものも選考の対象といたしましたので、奮ってご応募下さい。		

## 「いきもののつながり」環境紙芝居 15のおはなし

## No.15 自然の中へ出かける準備

雑木林や河川など身近な自然に出かけるときに最低限準備するもの

## 1. 服装

- (1) つばのついた帽子 (日差しをよけるとともに、低い木の枝等による怪我よけ、虫よけにもなる)
- (2) 長袖のシャツ (ケガやカブレ、虫さされよけ、紫外線よけになる)
- (3) 長ズボン (ケガやカブレ、虫さされよけとなる)
- (4) はきなれた靴 (できればひもでしっかり固定できるタイプの靴)
- (5) リュックサック (両手は観察に使い、安全確保にもつながる)
- (6) 着替え (汚れたり、濡れたり、汗をかいたりする場合に準備)

## 2. 持ち物

- (1) おべんとう
- (2) 水筒
- (3) タオル
- (4) シート
- (5) ルーベ (どこにでもいる小さないきもの興味深い観察ができる)
- (6) 雨ガッパ (天気予報に合わせて)

## リーダーの機器管理等チェックリスト

1. 必ず、フィールドの下見をしておく
2. 万一に備え、保険に加入しておく
3. フィールドに応じた救急セットの持参
4. 救急医療機関の電話番号を携帯電話に入れておく
5. フィールドでは必ずリーダー2人以上で行動する
6. 自然の中では必要とき以外、大きな声を出さないようにする
7. 携帯観察ケース、ビニール袋、新聞紙を持っていくと何かと便利です



「いきもののつながり」制作プロジェクト 代表 下重 喜代  
 発行 サステナブル・アカデミー・ジャパン  
 E-mail: kiyo-sun@nifty.com

- 発行日 平成26年9月1日
- 編集兼発行 公益財団法人とうきゅう環境財団  
 〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14  
 (渋谷地下鉄ビル5F)  
 TEL (03)3400-9142  
 FAX (03)3400-9141  
 ホームページ <http://www.tokyuenvironment.or.jp/>

